

きょうもあしたも、
みんな

ふ、
fu

ふ、
fu

ふ、
fu

ま ち と
く ら し と
か ら だ と
ひ と と

川崎病院 広報誌

vol.79

2025.1月号



HP



バックナンバー

ふ、ふ、ふな便利です

かわさきさんからの
便利が届きました

有事に備えて、 整理整頓！

阪神・淡路大震災の日、兵庫警察署の警察官として働いていた私は、倒壊家屋からの被災者の救出に従事しました。満足な工具類は全くありません。手作業で積み重なった瓦や梁、柱を取り除いて活動を進めました。兵庫警察署は1階が倒壊し、主な装備資機材が埋没していました。車両すら人力で移動せざるを得ない状態でした。

つまり、兵庫警察署員は、警察活動の「目、耳」となる情報収集機器、「手」となる装備資機材、「足」となる車両が使えない状態で、被災者の救出と110番通報などの対応に「人力」で取り組みました。この経験から常に有事を想定した資機材と情報の整理整頓が不可欠だと痛感しました。

救出活動を実施していたさなか、倒壊家屋の屋根から転落して負傷した同僚がいました。搬送病院を探し回っていたところ、夜間にもかかわらず快く受け入れてくださったのが川崎病院でした。穏やかで親切な医師、看護師、職員の皆さんの対応が今も忘れられません。本当に困っている人を最後に救うのは、温かい人の心かもしれません。私が川崎病院を第二の職場として希望したのは、この経験があったからです。

総務人事課防災センター
あべさん



最近、
片付け
でき
てる？



今回の特集は「片付け」です。川崎病院の医師・看護師と神戸市すまいの総合窓口「すまいるネット」の消費生活相談員で対談を行いました。地域の住まいに訪問診療をする医師、看護師。住まいの片付けのアドバイスをする相談員。それぞれの視点から「片付け」を考えてみました。

そこにモノがあることの意味

血宮田 訪問する患者さんには思うように体が動かず片付けることが難しい方もいて、片付けについて考えることがよくあります。

す高松 ご高齢の方が自分では片付けられないと相談に来られることはよくあります。訪問診療では片付けもされるんですか？

血武田 うーん、基本的に片付けに直接介入することはありません。不要に見えるモノがご本人にとっての大切なモノであることも多いんです。ただ、コミュニケーションを通して、片付けを促すことがあります。

す松本 どのようなコミュニケーションをとっているんですか？

血武田 訪問した際に、そのひとのライフスタイルやなぜそこにモノを置いているのか把握し、そして信頼関係を築くことから始まります。信頼関係のもとに「そこにモノがあると危ないですよね」とお声がけすることがあります。

す高松 なるほど、患者さんの意思を尊重しながら、片付けていくということですね。

自分で選ぶ「片付け」

す高松 私たちは、片付け業者を選ぶときの助言をしています。複数の業者を案内したり、選ぶときのアドバイスをしたりしています。相談者の方がどんな暮らしをしていて、これからどうしたいかななどを詳しく聞くことを意識しています。

血宮田 ご本人の暮らし方を考えることは、やはり大切ですね。年齢にかかわらず、家族との関わりを含めて、考えてみてほしいことですね。片付けの業者選びに、相談者さんの選択を尊重するという姿勢は私たちの訪問診療にも通じる場所があります。

すまいるネット消費生活相談員
松本美知子さん

在宅医療センター看護師
宮田真弓さん

災害へのそなえとして

血宮田 阪神・淡路大震災では、家具の転倒が多かったと聞いています。訪問においてもベッド周りなどの片付けの必要性を強く感じています。

す高松 そうなんです。災害時の避難のために片付けはとても大切です。逃げ道をつくるだけでなく、片付けができていないと、家が倒壊したときのがれき処分費用がかさむこともあるんです。

血宮田 倒壊したときのことまで考えておくものなんですね。

す松本 はい、倒壊した場合は、道路をふさいでしまうこともあり、地域の救護活動に影響が出ることもあるので、ご近所のためにも大切なことですね。

血武田 患者さんの片付けで、私たちの手では難しいとき、ぜひ連携をさせていただきたいなと思いました。そして、私たち自身も自分で考えながら、片付けに取り組まないでですね！

川崎病院 × すまいるネット

片付け

なんて、ただつけ？



総合診療科 医師
武田幸大さん



すまいるネット消費生活相談員
高松綾子さん

川崎病院ではたらく人々



廣澤 早季子 ひろさわ さきこ

予防医学部・健診センター 保健師

予防医学部・健診センターってなにをするの？人間ドックや各種健診に来られた受診者さんの保健指導や健康相談を行っています。動脈硬化や生活習慣病予防の観点から、悪玉コレステロールや中性脂肪、血糖値や血圧が高めの方に、生活のなかでできる工夫についてお伝えしています。健康診断での保健指導と聞くと、怒られるイメージをお持ちの方もいますが、怒ることはまずありません。むしろ、笑いの絶えない健康相談を目指しています！

＼Q1／
仕事でやりがいを感じる時は？

A 健康相談の後、「ありがとう」と受診者さんに言っていただけたとき。

＼Q2／
大切にしている言葉はなんですか？

A やらない後悔よりやる後悔

＼Q3／
保健師を目指したきっかけは？

A 病気になる前に「健康を守る」ことに携わる仕事に関心があったので。

＼Q4／
最近、笑ったことは？

A 日々笑いあって仕事してます（笑いすぎて覚えてません）。

＼Q5／
昨日の夜ご飯はなにを食べましたか？

A もずくのお味噌汁、手作りの納豆巻き。

＼Q6／
どうしても捨てられない大切なものはありますか？

A 高校時代のジャージ……。大切というより、使いやすくて。

＼Q7／
整理整頓は得意ですか？

A 苦手です。

＼Q8／
災害への備えで気をつけていることはありますか？

A 車のガソリンをこまめに給油しておくこと。

＼Q9／
無人島にひとつだけ持っていくとしたら？

A 気の合う話し相手。

＼Q10／
きのこの山、たけのこの里どっち派ですか？

A たけのこの里

＼Q11／
推しの一曲を教えてください

A 僕が一番欲しかったもの/槇原敬之

＼Q12／
人間以外の生き物に生まれ変われるなら？

A ぞうさん。肉食獣から狙われることなく平和に暮らせそうだから。

神戸市すまいの総合窓口 すまいるネット 078-647-9900 水・日・祝をのぞく10:00~17:00

すまいるネットは、高齢期の住み替え、マンション管理、空き家など住まいに関するお悩み相談窓口です。住まいに関する事で気になっていること、不安に思っていることなどがあつたら、一度ご相談してみたいかがでしょうか？



すまいるネット HP▶

▶ イベント紹介

1月24日(金)14:30~15:30 **無料**
要予約
学び生かす、医療のこと
かわさき健康講座
お口の健康と健康寿命
講師: 歯科口腔外科 医師 後藤育子
場所: 神戸市立婦人会館

2月28日(金)14:00~15:00 **無料**
学び楽しむ、医療のこと
かわさき健康講座
**自宅でできる腰のヘルスケア
~腰痛のキホンと予防策~**
講師: 理学療法士 江川栄作
場所: 荒田地域福祉センター

3月1日(土)10:00~15:30 **無料**
**兵庫消防署救急隊×川崎病院
救急医療フェア**
~合言葉は、とりあえず川崎病院~
制服着用体験・救急医療体験など
場所: イオンモール神戸南

3月27日(木)14:00~15:00 **無料**
学び楽しむ、医療のこと
かわさき健康講座
**私たちの心臓と日常生活
~心不全と診断されたら~**
講師: 理学療法士 山道義幸
場所: ひよどり地域福祉センター

NEWS

- 川崎病院は1月6日で開設89年を迎えます。
- 地域のための救急車を! 2月から救急車購入プロジェクトが始動します!
- 院内のヤマザキショップでは、大人数用のサンドイッチやケーキ、お寿司などを予約購入することができます!

かわさきさんの
ふ、ふ、ふな日常

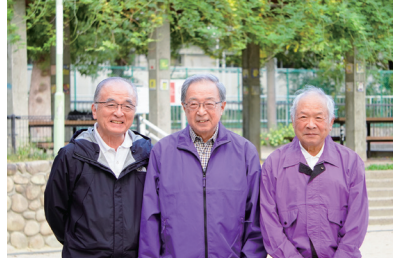
川崎病院の職員がリレー形式でお送りする、1コマの日常。



脚を枕に眠る愛犬

このマチこのヒト

25年以上、防災活動に取り組む
**東山地区
防災福祉コミュニティ**



左から 副委員長・梶原さん
委員長・次本さん 副委員長・大井さん

地域の皆さんが災害時にどのように対応されるのか、近隣の病院として連携するために知っておきたいです!

東山地区防災福祉コミュニティは、阪神・淡路大震災から2年後の1997年に発足しました。地域住民が所属し、防災訓練や救急救命の講習会などを開催しています。

子どもたち向けの防災訓練をしたり、地元消防団の中学生による防災グッズとして使えるポンチョ作り講習を実施したり、会員の高齢化を防ぐためにも、若い人たちが参加したいと思えるイベントを企画しています。また、神戸市や自衛隊の協力のもと、夜間に防災訓練を行うなど、実践的であることやマンネリ化しないことを重視して活動しています。

2024年には、長年の取り組みが評価され、安全功労者総務大臣表彰(団体の部)を受賞しました。これからも地域一体となって防災に取り組めます!



編集後記

あけましておめでとうございます!
今年は何年。兵庫区にある和田神社は、神使として白蛇をお祀りしてこられたそうです。境内の数々の祈願巳に圧巻されること間違いなしです。ぜひ足を運んでみてくださいね。
さて、今回の広報誌は「片付け」がテーマでした。広報室では、半年前からお家で使っていない画材や文具、端材などの寄

付を呼びかけていて、現在までに多くの職員や地域の皆さんにご協力を頂いています。ありがとうございます。今年は、それらを材料にして楽しい取り組みを行います。「川崎病院の広報室っていったい何者...?」と言われることを目標に、元気に活動していきます。『病は気から』。今年も楽しくふ、ふ、ふと笑って過ごしましょう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

Instagramで情報を発信中!

